

あなたの家の「生ごみ」をどれだけ減量できるかコンテスト応募要項

1 趣旨・目的

東広島市では、令和4年度の1年間で約6.4万トンのごみが排出され、市民一人あたりでみると1日921グラムのごみが排出されています。この市民一人1日あたりのごみ排出量を850グラムにすることを目標にしていますが、未達成なのが現状です。ごみの減量化について、一人ひとりが買い過ぎない、使わなくなったものを誰かに譲る、ごみの分別に気を付けて資源を大切に使うなど、様々な工夫でごみを減らすことは、CO₂削減や深刻さを増す気候変動問題の改善につながると言われています。

環境への負荷を減らすため、東広島市ではごみの減量を推進しています。そこで、市全体でごみ減量のきっかけづくりとするため、ごみ減量コンテストを実施します。

2 共催

東広島市生活環境部廃棄物対策課、株式会社プレスネット

3 募集内容

ごみの減量を実施したレポート（記録）と写真

4 応募資格

東広島市内に在住、通学、通勤している方

5 応募方法

① 応募する部門を次のうち、どちらか1つだけ選択する。

- ・「生ごみ処理容器部門」

生ごみ処理容器（処理機）、ミミズコンポスト等を使用した減量方法

- ・「アイデア部門」

生ごみ処理容器等の使用以外の減量方法

② 減量方法などを記録、写真を撮影、応募する。

③ ウェブ又は郵送で応募する。

- ・ **ウェブで応募の場合**

【レポート様式（記録用メモ）】に減量した内容を1か月間（8/16～9/15）記録する。実施内容がわかる写真を2枚以上撮影（上限10枚まで）。右側の応募用二次元コードを読み込み、ウェブで応募する。



応募用
二次元コード

- ・ **郵送で応募の場合**

【レポート様式（記録用メモ）】に減量した内容を1か月間（8/16～9/15）記録する。実施内容がわかる写真を2枚以上撮影（上限10枚まで）。必要事項を記入の上、1か月間記録した「【レポート様式（記録用メモ）】」と「写真」を郵送で応募する。

※【レポート様式（記録用メモ）】は、応募要項の3ページ目にあります。

[郵送（宛先）]

〒739-8616 東広島市西条下見六丁目 6 番 23 号
株式会社プレスネット 「生ごみ減量コンテスト」係まで

6 レポート（減量実施）期間

令和 5 年 8 月 16 日（水）～令和 5 年 9 月 15 日（金）までの 1 か月間

7 応募受付期間

令和 5 年 9 月 16 日（土）～令和 5 年 9 月 30 日（土）[当日消印有効]

8 選考

ごみを減らすための工夫・心がけ・アイデア・啓発効果などについて、総合的に審査します。右側の二次元コードを読み込み、参考にしてください。



9 入賞発表

10 月下旬、東広島市ホームページ及びプレスネット紙面で発表予定。

10 表彰の種類及び副賞（「生ごみ処理容器部門」「アイデア部門」の部門ごと）

(1) 最優秀賞

賞状と副賞（クオカード 5 千円）・・・各部門 1 人

(2) 優秀賞

賞状と副賞（クオカード 3 千円）・・・各部門 3 人

11 その他

(1) 応募された内容を東広島市が印刷物やホームページに利用する等、事業に利用する権利は東広島市に帰属するものとします。

(2) 応募者の氏名等を含め応募内容を市の広報活動等に使用することについては、応募された時点であらかじめご了承いただいたものとします。

(3) 応募者の個人情報、厳重に管理するとともに、コンテストの募集・発表・広報活動に係る事務以外には一切使用しません。

12 問い合わせ

株式会社 プレスネット

電話 082-424-9300

Eメール weekly@pressnet.co.jp

【レポート様式（記録用メモ）】

応募部門 (○で囲んでください)	※どちらか1つを選んでください。 「生ごみ処理容器部門」 ・ 「アイデア部門」			
お名前	フリガナ	年齢	歳	
ご住所	(〒 .)	学校名・職業		
連絡先	電話番号:	世帯人数	人	
	メールアドレス:			
減量した年月日	減量した生ごみの内容、方法、工夫した点等	減量前の重量(g) (A)	減量後の重量(g) (B)	減量できた重量(g) (A-B)
【例】 R5.8.16	人参の皮・へた、ジャガイモの皮、キャベツの芯、キュウリのへたを小さく切って、削減型生ごみ処理容器で処理した。(SNSに投稿した)	153	0	153

※行が足りない場合は、コピーしてください。